

平成29年産米の放射性物質測定結果について（第2報）

平成29年産米の放射性物質測定結果が判明しましたのでお知らせします。

1 測定年月日

平成29年8月30日

2 測定機関

一般財団法人 東京顕微鏡院
分析機器 ゲルマニウム半導体検出器

3 測定結果

測定した2点について、食品衛生法の規定に基づく放射性物質の基準値（100ベクレル/kg）以下であり、**安全性に問題がないことが確認**されました。

下記の地域において生産された平成29年産米は通常どおり出荷、販売等が可能となっています。

【今回の検査結果により、新たに出荷販売が可能となった旧市町村】

現市町村	旧市町村（平成15年3月31日時点の市町村名）
登米市	南方町、石越町

4 検査結果の概要

検査点数 （計画）	検査済 点数	不検出	50Bq/kg 超	100Bq/kg 超過
		～50Bq/kg 以下	～100Bq/kg 以下	
74	3（2）	3（2）	0	0

※検査点数は、作付・販売等の状況に応じて変更されることがある。

※括弧内は今回公表した点数。

※これまでの検査結果については、放射能情報サイトみやぎ(<http://www.r-info-miyagi.jp/r-info/>)にてご確認ください。

[測定結果の詳細]

No.	市町村	旧市町村	検体分析 年月日	放射性セシウム濃度 (Bq/kg)		
				Cs-134 (検出限界値)	Cs-137 (検出限界値)	計 (検出限界値)
1	登米市	南方町	8月30日	不検出 (3.9)	不検出 (3.4)	不検出 (7.3)
2	登米市	石越町	8月30日	不検出 (2.7)	不検出 (3.2)	不検出 (5.8)

※不検出とは、検出限界値未満であることを示す。

※括弧内の数値が検出限界値であり、測定毎に変動する。